

校訓	真善美	令和6年度 学校だより	発行日	令和6年9月24日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心を育てる	「荒中だより」 9月 長月 September 第18号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について】

3年生対象に、令和6年4月18日(木)に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果について、本校の結果等をお知らせいたします。伊丹市全体の結果は、伊丹市のHPにて発表されています。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動のひとつの側面です。調査内容は以下(1)(2)です。なお(1)については、教科担当者からの分析と今後の取り組みについてです。2教科に共通していることは、無回答率が全国より25P下回った項目をトップに、31問中27問が全国を下回っていました。説明する、要約する、証明する問題に粘り強く取り組み、特に、思考・判断・表現の記述式には全国と大きな差がみられるほど、挑むことができました。

(1) 学力に関する調査 (国語・数学)

国語

本校の平均正答率は、全国平均とほぼ同じでした。特に、知識・技能の分野においては、全国平均を上回り、基礎学力は身につけていると言えます。ただ、思考・判断・表現力の分野において、記述式の解答に難がみられました。今後は、これらの取り組みを継続し、学んだ知識・技術を使って、自分の考えが伝わるように工夫をしたり、他者の意見から考えを広げ深めたりできるよう工夫していきます。また、資料活用問題を授業だけでなくテストにも出題するなどして、文章と図等、情報と情報との関係を理解する力をつける問題に多く取り組んでいきます。

数学

本校の平均正答率は、全国平均を上回っていました。知識・技能の分野においては、全国平均を上回り、基礎学力は身につけていると言えます。特に、思考・判断・表現力の分野においては、全国平均を上回り、身につけていると言えます。選択式の発問に比べ、記述式の発問の正答率が高い傾向にあります。これは、計画的に単元ごとの過去問題に繰り返し取り組むことで、出題形式に慣れることができたことが結果につながったと思われます。また、ROSE タイム (数学の教え合い学習活動) により、通常の授業の中でも生徒同士の教え合いが活性化し、学力向上につながりました。そして、2年生から取り組んでいる

YD（やればできる）ノートを作成し、毎時間の授業で重要な問題を解き直すことで、基礎・基本の定着を図ることができました。今後は、事象を数学的に解釈したり、筋道を立てて考えたりすることを数学的な表現を用いて説明できるように指導を心がけていきたいと考えています。

（２）学習状況に関する調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活面等)について

★印の項目は、「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた数字になっています。
また、▲印は、全国平均 より低い数値（％）を表しています。

質問事項	本校	全国	全国との差
★朝食を毎日食べている	90.1	91.2	▲1.1
★毎日、同じくらいの時刻に寝ている	83.1	80.7	2.4
★毎日、同じくらいの時刻に起きている	94.5	92.5	2.0
★自分には、よいところがあると思いますか	86.9	83.3	3.6
★将来の夢や目標を持っている	77.1	66.3	10.8
★人が困っているときは、進んで助けていますか	93.5	90.1	3.4
★いじめは、どんな理由があってもいけない	94.0	95.8	▲1.8
★人の役に立つ人間になりたい	95.6	95.2	0.4
★学校に行くのは楽しいと思いますか	89.1	83.8	5.3
★友達関係に満足していますか	96.1	90.1	6.0
★普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	92.3	89.8	2.5
★学校の授業以外で平日2時間以上が家庭学習している	27.3	31.7	▲4.4
★1，2年生の授業でICT機器を活用し友達と考えを共有、比較していますか	89.1	86.2	2.9
★1，2年生の授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなど工夫して発表していましたか	52.2	64.8	▲12.3
★わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか	83.6	78.6	5.0

自分の良さを認識し、将来に夢や目標をもって、可能性をどんどん広げていこうという3年生の前向きな姿勢がみられました。また、困っている人に対して自分にできることを考え、行動できる良さは、誇りです。そんな荒中生が、義務教育を終えて自分の人生を自分で選んで生きていくためには、目指す進路をつかむための学力が必要です。1日3時間の自主的な家庭学習を継続的に続けることから始めましょう。

※ 伊丹市の結果報告との比較より

Well-being 3項目、ICT機器をこなす力 2項目、協働性 全ての項目において上回っていました。教科を好きな気持ちでは、国語も数学も大きく上回っていました。

主体性と見直し調整する力は、少し下回っていました。ただ、「学習した内容について

わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」は、日々の家庭学習で復習をする時間の確保、取り組みを自主的に行うことで解消されると思います。やればできる！

やらなきゃできない！ 継続は力です。荒中生は、やればできる！ 『自ら考え、行動する』

